

日本国憲法	1年・前期	2単位	教授 吉田一康
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31220161

1. 授業のねらい・概要

日本国民として知っておかなければならない国民の権利・義務や国の基本的な統治形態について理解することを目標とします。初めて見る用語が多いかもしれませんが、できるだけ分かり易く説明します。
最近、問題になっている憲法改正や皇位承継、自衛隊の海外派遣、平成21年から開始された裁判員制度などについても、できるだけ分かりやすく解説します。

2. 学修の到達目標

1. 国民の権利・義務や国の基本的な統治形態についての理解。
2. 自由権などについての独自の価値観の形成。

3. 授業の進め方

1. 50～60分 配布するレジュメに従って、説明をしながら講義を行います。憲法の第1章「天皇」から第11章「補則」まで、重要事項について、基本的には条文順に説明します。
2. 30～40分 配布する練習問題に回答してもらいます。また、質問を受け付けます。

4. 授業計画

1. 講義紹介	9. 社会権（生存権とは？）
2. 憲法とは（硬性・軟性憲法など）	10. 財産権（財産権の不可侵性など）
3. 国民主権と天皇制	11. 参政権（選挙権、被選挙権など）
4. 戦争放棄	12. 国会（二院制、国政調査権など）
5. 第9条関係DVD	13. 内閣（議院内閣制、解散権など）
6. 憲法の主体（法人や外国人は？）	14. 裁判所（裁判員制など）
7. 基本的人権（法の下での平等など）	15. 財政、地方自治・憲法改正など
8. 自由権（思想及び良心の自由など）	

5. 成績評価の方法・基準

積極性 20%（受講態度など） ＋ 期末試験 80%（筆記試験）

A 80点以上 B 70～79点 C 60～69点 D（不可）60点未満

6. テキスト・参考文献

毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

1. 小嶋和司・大石真『憲法概観』（第7版）有斐閣双書 2011年（1995円）
2. 木下智史・只野雅人『新コンメンタール憲法』日本評論社 2015年（4860円）

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

各講義の内容に関係する参考文献の該当箇所を読むこと（1時間程度）。講義後、授業内容を復習して、レジュメ及び練習問題の解答を理解しておくこと（1時間程度）。

8. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。国際ビジネス学科との合同授業です。

9. 課題に対するフィードバックの方法

1. 各講義で行う練習問題の後に、解答及び説明を行います。
2. 期末試験の後に、解答例を掲示板に掲示します。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目。